

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成 31 年 3 月 3 日 13 時 30 分～16 時)

## 注 意 事 項

1. 試験問題の数は 110 問で解答時間は正味 2 時間 30 分です。
2. 解答方法は次のとおりです。
  - (1) 各問題には 1 から 4 までの 4 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)では 1 つ、(例 2)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。

(例 1) 問題 100 県庁所在地は (例 2) 問題 101 県庁所在地はどれか。

どれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

2 つ選べ。

1. 宇都宮市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

(例 1) の正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙 ① の場合

|     |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|
| 100 | ① | ② | ③ | ④ |
| 100 | ① | ② | ● | ④ |

答案用紙 ② の場合

|     |     |
|-----|-----|
| 100 | 100 |
| ①   | ①   |
| ②   | ②   |
| ③   | ●   |
| ④   | ④   |

(例 2) の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の①と③をマークすればよい。

答案用紙 ① の場合

|     |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|
| 101 | ① | ② | ③ | ④ |
| 101 | ● | ② | ● | ④ |

答案用紙 ② の場合

|     |     |
|-----|-----|
| 101 | 101 |
| ①   | ●   |
| ②   | ②   |
| ③   | ●   |
| ④   | ④   |

### 記入上の注意事項

- ① 答案の作成には HB の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)

悪い解答の例…… ⊖ ⊕ ⊗ ⊙ (解答したことにならない。)

- ② 答えを修正した場合には、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり ● のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。

- ③ (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

- ④ 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。





**問題 1** 患者の権利として誤っているのはどれか。

1. プライバシーの権利
2. 黙秘権
3. 知る権利
4. 自己決定権

**問題 2** 個人情報保護法で正しいのはどれか。

1. 罰則規定がない。
2. プライバシー保護が目的である。
3. 接骨院は個人情報取扱事業者である。
4. 利用目的を特定する必要はない。

**問題 3** 柔道整復師が原則自らの判断で行えるのはどれか。

1. 脱臼への施術
2. 打撲への施術
3. 外科手術
4. 薬品投与

**問題 4** 施術所の開設届出先で正しいのはどれか。

1. 市町村長
2. 都道府県知事
3. 保健所長
4. 厚生労働大臣

問題 5 施術所の構造設備基準で誤っているのはどれか。

1. トイレを設けること
2. 常に清潔に保つこと
3. 施術器具等の消毒設備を有すること
4. 換気を充分にすること

問題 6 施術所の立入検査で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 令状が必要である。
2. 犯罪捜査が目的である。
3. 構造設備を検査する。
4. 都道府県知事の権限である。

問題 7 柔道整復師法で認められている広告はどれか。

1. 連携病院を有する旨
2. 施術所の開設届出済の旨
3. 認定柔道整復師である旨
4. 自費施術を専門とする旨

問題 8 我が国の最高法規はどれか。

1. 法律
2. 命令
3. 条例
4. 憲法

問題 9 医療提供施設の承認で正しいのはどれか。

1. 病院 ————— 市町村長
2. 臨床研究中核病院 ——— 都道府県知事
3. 特定機能病院 ————— 厚生労働大臣
4. 地域医療支援病院 ——— 内閣総理大臣

問題 10 医師の守秘義務違反を規定する法律はどれか。

1. 医療法
2. 刑法
3. 医師法
4. 健康保険法

問題 11 閉眼すると悪化する運動失調はどれか。

1. 大脳性
2. 小脳性
3. 前庭性
4. 脊髄後索性

問題 12 内部障害に対する全身調整運動のプログラムで正しいのはどれか。

1. 筋の自動的な伸長運動を行う。
2. 運動の持続時間は10分以上に設定する。
3. 運動強度はなるべく高く設定する。
4. 運動の頻度は重要ではない。

問題 13 松葉づえで正しいのはどれか。

1. 木製松葉づえは JIS 規格に制定されていない。
2. 長さは身長  $\frac{3}{4}$  程度である。
3. 握りで体重を支える 2 点支持つえである。
4. 上肢に体重を支える力がなくても適応がある。

問題 14 リハビリテーションの目的はどれか。2 つ選べ。

1. 病気の治癒
2. 障がい者の保護
3. 日常生活動作の自立
4. 障がい者の社会復帰

問題 15 前脛骨筋の筋力低下を生じるのはどれか。

1. 第 2 仙骨神経麻痺
2. 第 2 腰神経麻痺
3. 腓骨神経麻痺
4. 脛骨神経麻痺

問題 16 失語症で復唱が可能なのはどれか。

1. ブローカ失語
2. ウェルニッケ失語
3. 伝導失語
4. 健忘失語



問題 17 写真(別冊 No. 1)を別に示す。

母指の運動はどれか。

1. 橈側外転
2. 橈側内転
3. 掌側外転
4. 掌側内転

|                |
|----------------|
| 別冊 No. 1<br>写真 |
|----------------|

問題 18 機能的自立度評価法(FIM)で監視または準備が必要だが、一人で実施可能な場合のレベルはどれか。

1. 7
2. 6
3. 5
4. 4

問題 19 86歳の男性。3年前に脳卒中になり、現在、屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない状況で、外出の頻度も少なく日中も寝たり起きたりの生活をしている。障害高齢者の日常生活自立度の分類はどれか。

1. A1
2. A2
3. B1
4. B2

問題 20 脳卒中のリハビリテーション治療で正しいのはどれか。

1. ポジショニングはできるだけ早期に開始する。
2. 寝返りができない患者では約4時間おきに体位変換する。
3. 関節拘縮を防ぐため週3回の関節可動域訓練が必要である。
4. 中等度の意識障害があっても座位訓練を行う。

問題 21 45歳の男性。高所からの転落で頸髄損傷を受傷した。職業はパソコン操作によるデスクワークだが、自家用車で通勤が必要である。

改造自動車を用いた運転が可能な損傷レベルはどれか。

1. 第4頸髄節残存
2. 第5頸髄節残存
3. 第6頸髄節残存
4. 第7頸髄節残存

問題 22 肘関節の屈曲と頭部前屈による前かがみ姿勢を特徴とするのはどれか。

1. 破傷風
2. 被殻出血
3. クッシング(Cushing)病
4. パーキンソン(Parkinson)病

問題 23 栄養状態で正しいのはどれか。

1. 肥満は BMI 25 以上である。
2. 標準体重は身長 × 身長 × 23 である。
3. 悪体質は極端にやせが進行した状態である。
4. 肥満度は(実測体重 - 標準体重) ÷ 実測体重 × 100 である。

問題 24 意識状態で皮膚をつねるなどの強い刺激のみに少し反応するのはどれか。

1. 傾 眠
2. 昏 睡
3. 昏 迷
4. せん妄

問題 25 不随意運動で誤っている組合せはどれか。

1. 脳性麻痺 ————— 手関節のアテトーゼ
2. 重症な肝疾患 ————— 羽ばたくような振戦
3. 甲状腺機能低下症 ————— 振幅の小さな手指の振戦
4. ハンチントン(Huntington)病 ————— 踊るような動作

問題 26 一側性の錐体路障害でみられる歩行はどれか。

1. 鶏 歩
2. 突進歩行
3. 間欠性跛行
4. 分回し歩行

問題 27 爪が薄く弱くなり陥凹している場合に欠乏していると考えられるのはどれか。

1. 鉄
2. リン
3. 亜鉛
4. 蛋白質

問題 28 特徴的な顔貌について正しい組合せはどれか。

1. 顔面神経麻痺 ————— 眼瞼を開けられない。
2. 重症筋無力症 ————— 一見すると眠たそうである。
3. 大量のステロイド投与 ————— 三日月のような顔貌である。
4. バセドウ(Basedow)病 ————— 仮面のような顔貌である。

問題 29 胸水が貯留した胸部の打診音はどれか。

1. 清音
2. 鼓音
3. 濁音
4. グル音

問題 30 胃潰瘍の圧痛点はどれか。

1. オトガイ点
2. ボアス点
3. ランツ点
4. ムンロー点

問題 31 誤っている組合せはどれか。

1. 髄膜炎 ————— 項部硬直
2. 小脳疾患 ————— 筋トーンの低下
3. 膝関節液貯留 ————— 膝蓋骨跳動
4. 筋萎縮性側索硬化症 ————— 筋の仮性肥大

問題 32 生命徴候で異常値はどれか。

1. 脈拍 90/分
2. 血圧 124/90 mmHg
3. 腋窩体温 36.0℃
4. 安静時呼吸数 16/分

問題 33 脳波検査が必要なのはどれか。

1. 糖尿病治療中の患者が顔面蒼白となり意識を失った。
2. 突然、体の動きが止まり回復後もその間の記憶がない。
3. 足関節を急激に背屈させると間代性に底屈、背屈を繰り返す。
4. 何もしていないときに丸薬をこねるような手指の運動が続く。

問題 34 肝細胞癌の原因疾患で最も多いのはどれか。

1. A型肝炎
2. B型肝炎
3. C型肝炎
4. E型肝炎

問題 35 急性膵炎で誤っているのはどれか。

1. 疼痛は仰臥位で軽減する。
2. アルコール多飲が誘因となる。
3. 血液検査でアミラーゼが上昇する。
4. 腹部エコーで膵臓の腫大がみられる。

問題 36 気管支喘息の治療薬で誤っているのはどれか。

1. アドレナリン
2.  $\beta_2$  遮断薬
3. 抗アレルギー薬
4. 吸入ステロイド薬

問題 37 肺癌で正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 好発年齢は 40 ～ 50 歳代である。
3. 腫瘍マーカー検査で診断を確定する。
4. 末梢に発生すると多くは無症状である。

問題 38 心不全の症状で誤っているのはどれか。

1. 発熱
2. 下腿浮腫
3. 起座呼吸
4. 労作時の息切れ

問題 39 糖尿病の合併症でないのはどれか。

1. 眼底出血
2. 慢性腎臓病
3. くも膜下出血
4. 閉塞性動脈硬化症

問題 40 腎前性腎障害の原因となるのはどれか。

1. 脱水
2. 腎梗塞
3. 尿管結石
4. 糸球体腎炎

問題 41 認知症を生じるのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. 正常圧水頭症
3. ネフローゼ症候群
4. マロリー・ワイス(Mallory-Weiss)症候群

問題 42 33歳の女性。5年前から日光過敏を自覚していた。1年前から口内炎を繰り返し、6か月前から両側の手関節の関節痛と脱毛を認めた。1か月前から発熱が持続したため来院した。体温 38.2℃。尿所見では、タンパク陽性、潜血陽性。血液検査では、血小板減少、抗二本鎖 DNA 抗体陽性を認めた。

最も考えられる疾患はどれか。

1. 皮膚筋炎
2. 全身性強皮症
3. 全身性エリテマトーデス
4. ベーチェット(Behçet)病

問題 43 75歳の女性。道ばたで転倒しているのが発見された。症状を尋ねたところ、右手足が動きにくいと訴えたため救急車を要請した。

誤っているのはどれか。

1. 頸髄損傷
2. 橋左側の脳出血
3. 右被殻部の脳出血
4. パーキンソン(Parkinson)症候群

問題 44 機械的損傷はどれか。

1. 低温による凍傷
2. 紫外線による熱傷
3. 気圧による減圧症
4. 電気による電撃傷



問題 45 Ⅲ度の広範囲熱傷の治療で適切でないのはどれか。

1. 十分な輸液
2. 抗潰瘍薬の投与
3. 抗菌薬の全身投与
4. 血漿膠質浸透圧の補正

問題 46 感染症の治療で正しい組合せはどれか。

1. 破傷風 ————— ペニシリン
2. ガス壊疽 ————— 抗毒素血清(テタノブリン)
3. 皮膚カンジダ症 ————— 抗真菌薬
4. アスペルギルス症 ————— テトラサイクリン

問題 47 輸血で正しいのはどれか。

1. 採血後6日以内のものを新鮮血という。
2. 保存血輸血は血小板の補給が期待できる。
3. 凝固因子の補充には新鮮凍結血漿を用いる。
4. 循環血液量の維持には血小板輸血を用いる。

問題 48 クロルヘキシジンで殺菌効果が期待できないのはどれか。

1. 結核菌
2. 多剤耐性菌
3. グラム陽性球菌
4. B型肝炎ウイルス

問題 49 縫合で誤っているのはどれか。

1. 汚染創では一次縫合を行う。
2. 神経縫合では神経鞘を縫合する。
3. 感染創ではデブリドマンを行う。
4. 消化管縫合では自動吻合器が使用される。

問題 50 脳死と臓器移植で誤っているのはどれか。

1. 急性拒絶反応の時期は移植後2～3か月以内である。
2. 心臓移植後の生存率は3年生存率70～80%である。
3. 脳死とは脳幹を含む全脳髓の可逆的な機能喪失の状態である。
4. 改正臓器移植法では家族の同意を得れば脳死下の臓器摘出が可能である。

問題 51 心肺蘇生で誤っている組合せはどれか。

1. 気道異物除去 ————— 上腹部圧迫法
2. 用手的気道確保 ————— 上顎挙上法
3. 胸骨圧迫心臓マッサージ ————— 5 cm 以上圧迫
4. AED(自動体外式除細動器) ————— 心室細動

問題 52 頭部外傷と症状の組合せで誤っているのはどれか。

1. 脳しんとう ————— セカンドインパクトシンドローム
2. 頭蓋底骨折 ————— 髄液鼻漏
3. 急性硬膜下血腫 ————— 意識障害
4. 慢性硬膜下血腫 ————— 激しい頭痛

問題 53 交通外傷により損傷を受けた臓器と胸腹部 CT 検査所見の組合せで誤っているのはどれか。

1. 肺 ————— 気 胸
2. 肝 ————— 腹腔内出血
3. 脾 ————— 後腹膜出血
4. 消化管 ————— 腹腔内遊離ガス像

問題 54 28歳の男性。バイクを運転中に転倒し右側胸部を強打した。意識は清明。右側胸部に著明な疼痛があり、呼吸困難を訴えている。胸部エックス線検査で右第5・6肋骨骨折と右肺完全虚脱がみられた。

まず行うべき治療はどれか。

1. 外固定
2. 開胸手術
3. 気管内挿管
4. 胸腔ドレナージ

問題 55 骨癒合を促進させる因子でないのはどれか。

1. 血流の存在
2. 骨膜の残存
3. 解剖学的な整復
4. 力学的安定性の保持

問題 56 大理石骨病で誤っているのはどれか。

1. 骨硬化像を示す。
2. 水頭症を合併する。
3. 視力障害をきたす。
4. 病的骨折を生じる。

問題 57 続発性骨粗鬆症の原因で誤っているのはどれか。

1. 関節リウマチ
2. 副腎皮質ステロイド薬
3. 甲状腺機能低下症
4. 安静臥床

問題 58 6歳の男児。ガワーズ徴候陽性で、両側の下腿三頭筋は肥大している。

病状が進行するとみられる所見はどれか。

1. 下肢深部腱反射亢進
2. 分回し歩行
3. 外眼筋麻痺
4. 呼吸量減少

問題 59 化膿性関節炎で誤っているのはどれか。

1. 起炎菌は黄色ブドウ球菌が多い。
2. 治療の第一選択は保存療法である。
3. 小児では血行感染が多い。
4. 糖尿病は発症の危険因子となる。

問題 60 シャルコー(Charcot)関節の原因疾患となりうるのはどれか。

1. 糖尿病性神経炎
2. 神経痛性筋萎縮症
3. エルブ(Erb)麻痺
4. シャルコー・マリー・トゥース(Charcot-Marie-Tooth)病

問題 61 変形と原因の組合せで正しいのはどれか。

1. 三尖手 —— 胸郭出口症候群
2. 鷲手 —— 外反肘
3. 下垂手 —— 後骨間神経麻痺
4. 猿手 —— ギヨン(Guyon)管症候群

問題 62 つま先歩き跛行になるのはどれか。

1. フライバーグ(Freiberg)病
2. ブラント(Blount)病
3. ケーラー(Köhler)病
4. セーバー(Sever)病

問題 63 化学療法に感受性の低い悪性骨腫瘍はどれか。

1. 悪性リンパ腫
2. 骨肉腫
3. 軟骨肉腫
4. ユーイング(Ewing)肉腫

問題 64 30歳の男性。6か月前から運動で軽減する腰痛があり、腰椎の背屈制限を伴っている。この患者にみられる所見はどれか。

1. 腱付着部炎
2. 間欠性跛行
3. 関節内石灰沈着
4. 腸骨翼形成不良

問題 65 70歳の女性。転倒して大腿骨近位部を骨折した。二重エネルギーエックス線吸収法による腰椎の骨密度は若年成人平均値の78%であった。

骨粗鬆症の薬物治療を開始する判断で正しいのはどれか。

1. 今すぐに開始する。
2. 喫煙歴があれば開始する。
3. 脆弱性骨折の家族歴があれば開始する。
4. 今後骨密度の低下が生じれば開始する。

問題 66 完全骨折はどれか。

1. 陥凹骨折
2. 竹節状骨折
3. 剪断骨折
4. 骨膜下骨折

問題 67 骨挫傷が証明される画像はどれか。

1. 超音波
2. 単純エックス線
3. CT
4. MRI

問題 68 関節包内骨折はどれか。

1. 上腕骨外科頸骨折
2. 上腕骨顆上骨折
3. 大腿骨頸部内側骨折
4. 大腿骨大転子単独骨折

問題 69 握雪音を生じるのはどれか。

1. 仮骨の軟化
2. 外傷性皮下気腫
3. 偽関節
4. 外傷性骨化性筋炎

問題 70 施術録で正しいのはどれか。

1. 患者本人以外に対する説明は記載しない。
2. 訂正する場合は修正液を用いる。
3. 業務範囲外で転医した場合は記載しない。
4. 施術完結の日から5年間保存する。

**問題 71** 骨折の固定で正しいのはどれか。

1. 骨折部の安静を目的とする。
2. 解剖学的正位を原則とする。
3. 範囲は患部より遠位2関節とする。
4. 期間はリモデリング期終了までとする。

**問題 72** 胸骨骨折で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ハンドル損傷で発生する。
2. 斜骨折が多い。
3. 呼吸運動に障害はみられない。
4. 合併症に縦隔内臓器損傷がある。

**問題 73** ゴルフの右スイングによる肋骨疲労骨折の好発部位はどれか。

1. 右第1・2肋骨斜角筋付着部
2. 右第7・8肋骨結節部
3. 左第3・4肋骨前鋸筋付着部
4. 左第5・6肋骨角部

**問題 74** 腰椎椎体圧迫骨折で正しいのはどれか。

1. 下位腰椎に多発する。
2. 椎体は楔状変形を呈する。
3. 亀背変形を呈する。
4. 脊髄症状を呈する。



**問題 75** 肩甲骨体部骨折で正しいのはどれか。

1. 介達外力による発生が多い。
2. 横骨折はまれである。
3. 大きな転位を生じる。
4. 上肢の外転動作が困難となる。

**問題 76** 上腕骨解剖頸骨折で正しいのはどれか。

1. 小児に好発する。
2. 骨折部の変形が著明である。
3. 肩関節内転位で固定する。
4. 阻血性骨壊死の危険性がある。

**問題 77** 上腕骨顆上伸展型骨折で正しいのはどれか。

1. 顆上部に強力な後方凸の屈曲力が働き発生する。
2. 肘関節部に高度な腫脹を認める。
3. 肘関節前方脱臼との鑑別が必要である。
4. 偽関節を生じやすい。

**問題 78** 肘関節伸展位で固定するのはどれか。

1. 上腕骨骨幹部骨折
2. モンテギア(Monteggia)骨折屈曲型
3. 上腕骨内側上顆骨折
4. 橈骨頭骨折

問題 79 前腕骨遠位端部骨折で正しい組合せはどれか。

1. コーレス(Colles)骨折 ————— 鋤状変形
2. スミス(Smith)骨折 ————— フォーク状変形
3. バートン(Barton)骨折 ————— 遠位橈尺関節不全脱臼
4. ショウファー骨折 ————— 関節内骨折

問題 80 手舟状骨骨折で誤っているのはどれか。

1. 手関節背屈橈屈時に運動痛がある。
2. 関節内骨折はまれである。
3. 近位  $\frac{1}{3}$  の骨折は壊死が生じやすい。
4. スナッフボックスの圧痛がある。

問題 81 外傷と固定方法の組合せで正しいのはどれか。

1. 鎖骨骨折 ————— ハンギングキャスト
2. ガレアジ(Galeazzi)骨折 ————— ショートアームキャスト
3. 膝内側側副靭帯損傷 ————— シリンダーキャスト
4. 脛骨粗面部骨折 ————— PTB キャスト

問題 82 棘果長が延長するのはどれか。

1. デュベルニー(Duverney)骨折
2. マルゲーニュ(Malgaigne)骨折
3. 大腿骨頸部内転型骨折
4. 股関節後方脱臼

問題 83 大腿骨骨幹部骨折で誤っているのはどれか。

1. 介達外力による発生が多い。
2. 斜骨折は再転位の傾向が強い。
3. 開放性骨折となることがある。
4. ショック、合併症に十分注意する。

問題 84 足根骨骨折で正しい組合せはどれか。

1. 距骨骨折 ————— リスフラン関節脱臼の合併
2. 踵骨骨折 ————— ベーラー角の減少
3. 舟状骨骨折 ————— 足底の感覚障害
4. 立方骨骨折 ————— 内側アーチの低下

問題 85 反復性肩関節脱臼で正しいのはどれか。

1. 上腕二頭筋長頭腱損傷の合併が多い。
2. サルカス徴候が出現する。
3. 高齢者に多くみられる。
4. 肩甲下筋が障害される。

問題 86 橈骨頭脱臼で正しいのはどれか。

1. 後方に脱臼することが多い。
2. 前腕回外強制で発生する。
3. 尺骨骨折を伴うことが多い。
4. 前骨間神経損傷を合併する。

**問題 87** 手のPIP関節脱臼で正しいのはどれか。

1. 掌側脱臼が多い。
2. 浅指屈筋腱断裂ではDIP関節を屈曲できない。
3. 正中索の損傷の場合は屈曲位で固定する。
4. ボタン穴変形は徐々に発生する。

**問題 88** 股関節脱臼を腹臥位で整復するのはどれか。

1. 牽引法
2. デパルマ法
3. コッヘル法
4. スティムソン法

**問題 89** 膝関節脱臼で正しいのはどれか。

1. 前方脱臼は過度の屈曲が強制され発生する。
2. 後方脱臼はダッシュボード損傷で発生することが多い。
3. 外側脱臼は下腿が内旋する。
4. 内側脱臼は完全脱臼となる。

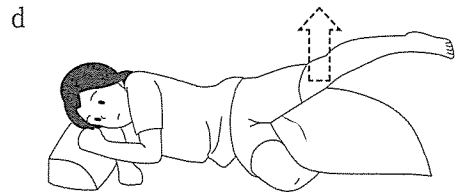
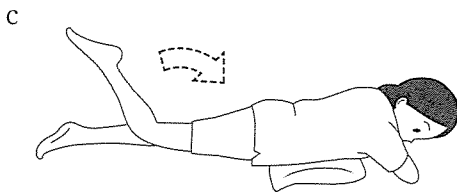
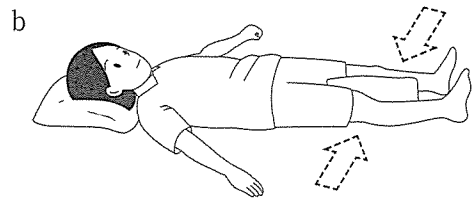
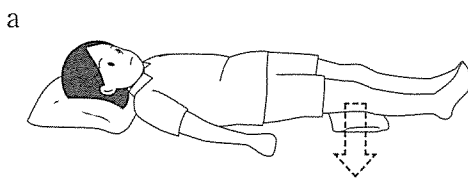
**問題 90** 膝蓋骨脱臼で正しいのはどれか。

1. 膝蓋骨は内方へ転位することが多い。
2. Q角は減少する。
3. 膝は軽度屈曲位に弾発性固定される。
4. 膝関節90度屈曲位で固定する。

問題 91 膝蓋骨外側脱臼の固定除去後に行う筋力強化で有効なのはどれか。

1. a
2. b
3. c
4. d

矢印は運動方向を示している。



問題 92 神経根型の頸部捻挫で正しいのはどれか。

1. 胸鎖乳突筋の筋力低下
2. 上肢の感覚障害
3. 肩関節の拘縮
4. 下肢深部反射の減弱

問題 93 各検査の評価方法で誤っているのはどれか。

1. SLR は膝伸展位で股関節屈曲 90 度までの疼痛出現をみる。
2. ルーステストは 1 分間の運動継続をみる。
3. スピードテストは結節間溝への疼痛出現をみる。
4. ファーレンテストは 1 分以内の症状出現をみる。

問題 94 クワドリラテラルスペース症候群で誤っているのはどれか。

1. 腋窩神経の絞扼性障害である。
2. 肩関節外転動作が困難となる。
3. 棘下筋に萎縮がみられる。
4. 肩外側に感覚障害を認める。

問題 95 末梢神経障害と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 前骨間神経麻痺 —— 母指球筋の萎縮
2. 後骨間神経麻痺 —— ティアドロップアウトライン
3. 肘部管症候群 —— フローマンサイン
4. 円回内筋症候群 —— 骨間筋の萎縮

**問題 96** 単純性股関節炎で正しいのはどれか。

1. 女児に多く発生する。
2. 両側同時発症はない。
3. 股関節開排制限が特徴である。
4. 大腿骨頭壊死を起こすことがある。

**問題 97** 大腿部前面の打撲で誤っているのはどれか。

1. コンタクトスポーツで多くみられる。
2. 初期は膝関節屈曲位で固定する。
3. 受傷後 24 時間を経過したら温熱療法が有効である。
4. 疼痛増悪時は医師に診断を仰ぐ。

**問題 98** 腹臥位で被検者の膝関節を 90 度屈曲位とし、検者が下腿と踵部を把握、脛骨長軸近位方向へ圧迫を加えながら下腿を内旋したところ、関節部に疼痛が誘発された。この徒手検査で判明する損傷部位はどれか。

1. 十字靱帯
2. 側副靱帯
3. 関節半月
4. 関節滑膜ひだ

問題 99 有痛性三角骨障害で正しいのはどれか。

1. 足部の過剰骨で最も頻度が高い。
2. 足関節最大背屈で疼痛を訴える。
3. 足関節後内側の疼痛がみられる。
4. 足関節捻挫を契機に発症する。

問題 100 足根管症候群で正しいのはどれか。

1. 足根管は内果後壁と伸筋支帯で形成される。
2. 腓骨神経枝の絞扼性神経障害である。
3. 足背部の感覚異常が主症状である。
4. 過度回内足は足根管内腔を狭める。

問題 101 18歳の男子。3週前、サッカーの試合中に右足関節を捻挫し、施術を行っていた。現在、日常生活での歩行で足関節部に疼痛や不安感はないが、運動時に踵骨隆起部の疼痛を訴えている。テーピングの写真(別冊 No. 2)を別に示す。

競技復帰時に行う適切なテーピングはどれか。

1. a
2. b
3. c
4. d

|                |
|----------------|
| 別冊 No. 2<br>写真 |
|----------------|



**問題 102** 70歳の女性。石につまずき、手関節を軽度背屈位・過度回内位で手を衝いた。手関節の近位2 cm付近に限局性圧痛がみられ腫脹著明で、同部位の幅も著しく増大していた。

整復後の固定肢位はどれか。

1. 前腕回内位、手関節軽度掌屈位、軽度尺屈位
2. 前腕回内位、手関節軽度背屈位、軽度橈屈位
3. 前腕回外位、手関節軽度掌屈位、軽度橈屈位
4. 前腕回外位、手関節軽度背屈位、軽度尺屈位

**問題 103** 31歳の男性。空手の稽古中、試し割りで板を拳で突いた際に受傷した。第2 MP 関節付近に強い疼痛と腫脹を認め、拳を握ると疼痛が増強する。単純エックス線写真(別冊 No. 3)を別に示す。

この疾患で適切でないのはどれか。

1. 転位には骨間筋と虫様筋が作用する。
2. 側副靭帯を弛緩させると整復が容易になる。
3. 屈曲変形が残存すると伸展障害を起こす。
4. オーバーラッピングフィンガーに注意する。

別 冊 No. 3

写 真

問題 104 15歳の男子。陸上100m走でスタートと同時に左股関節に疼痛が生じた。単純エックス線写真(別冊 No. 4)を別に示す。

膝屈曲位で制限される股関節運動はどれか。

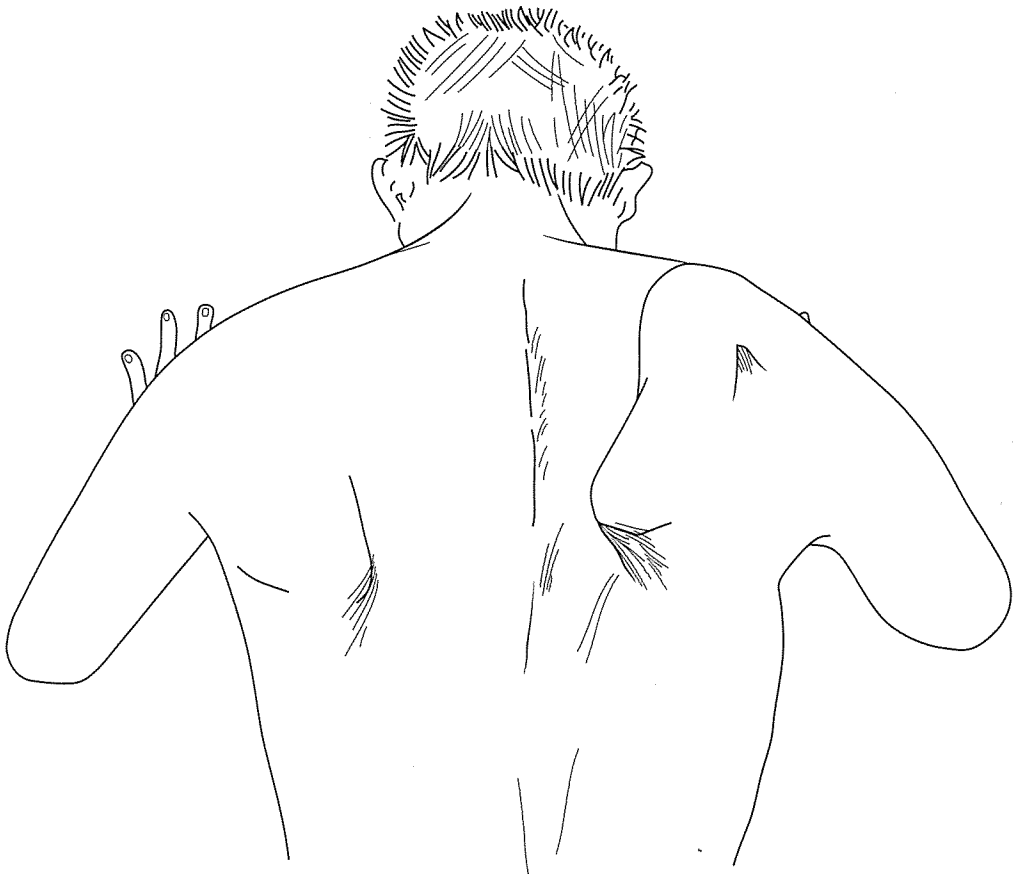
1. 屈曲・外転・外旋
2. 屈曲・内転・内旋
3. 伸展・外転・外旋
4. 伸展・内転・内旋

|                  |
|------------------|
| 別 冊 No. 4<br>写 真 |
|------------------|

問題 105 19歳の男性。2か月前にスノーボード滑走中に右肩を衝いて転倒した。肩関節の動きは悪かったが放置していた。症状が一向に改善しないため来所した。初検時、頸部から肩甲部にかけての自発痛があり、肩関節自動運動は屈曲90度、外転80度に制限されていた。両手で壁を押し付けさせる動作をしたところ、図のような現象がみられた。

最も考えられるのはどれか。

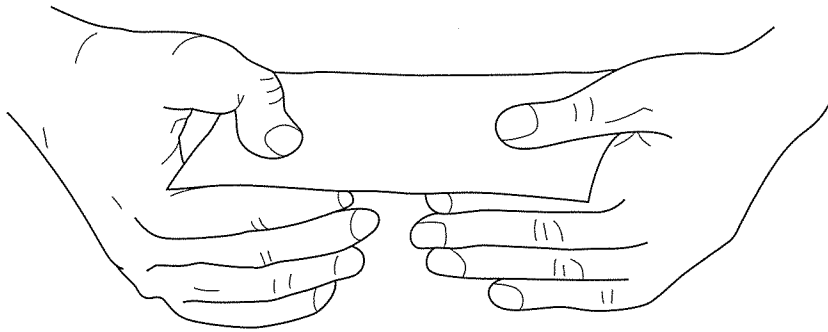
1. 鎖骨不全骨折
2. 肩関節脱臼
3. 棘上筋腱損傷
4. 長胸神経麻痺



問題 106 22歳の男性。サイクリングが趣味である。最近、右手の環指、小指のしびれを自覚し来所した。図の検査を実施し陽性であった。わずかであるが骨間筋と小指球筋に萎縮がみられた。また、前腕の感覚障害はみられなかった。

他に考えられる所見はどれか。

1. 下垂指
2. 祝祷肢位
3. スワンネック変形
4. 鉤爪指変形



**問題 107** 25歳の女性。2週前、転倒した際に右手を衝いて受傷したが、しばらく安静にしていたので症状は治まっていた。最近、手を使う作業が多く、手関節尺側に疼痛が出現してきたので来所した。手関節尺側部に圧痛があり、尺骨頭に軽度不安定性がみられた。

困難な動作はどれか。

1. ドアノブを捻る。
2. 食事を摂る。
3. 顔を洗う。
4. 文字を書く。

**問題 108** 8歳の男児。6歳からサッカーを始めた。特に肥満はない。1か月前から右膝から大腿部にかけての疼痛を訴えていた。しばらく様子を見ていたところ、母親が跛行に気づき来所した。膝関節に腫脹や圧痛、不安定性などはなく、大腿部も若干の筋緊張はあるものの明確な所見はなかった。股関節は外転・外旋に制限がみられた。スカルパ三角部に圧痛を認め、パトリックテストも陽性であった。

最も考えられるのはどれか。

1. 鼠径部痛症候群
2. 単純性股関節炎
3. ペルテス(Perthes)病
4. 大腿骨頭すべり症

**問題 109** 36歳の女性。退職し母親の介護を始めた昨年から体重が10 kg増加した。2週間前から右足関節内果周辺に疼痛がみられ、内果後方から遠位にかけて軽度の圧痛を認めた。踵部は外反位を呈し、つま先立ちは痛みのため困難である。

考えられる疾患はどれか。

1. 内果疲労骨折
2. シンスプリント
3. 変形性足関節症
4. 後脛骨筋腱炎

**問題 110** 30歳の男性。スキー滑走中に転倒し、ストックのストラップに右母指が引っ掛かり受傷した。来所時右母指に疼痛、腫脹がみられた。

最も困難な動作はどれか。

1. キーボードを叩く。
2. 鍵を回す。
3. ボールを握る。
4. 瓶の蓋を開ける。



